

# Business Segment Overview

## セグメント別の概況

### 食品事業

食品事業におきましては、前期に引き続き大規模商圏の首都圏と関西圏の販売を強化するとともに、コンビニエンスストア向けのポーション(1人前)タイプドレッシングの販売にも注力するなど、売上高の拡大に努めてまいりました。商品開発面では、平成16年9月にパスタソース5種類及びスパドレ「ペペロンチーノ」を新発売し、売上が好調に推移してまいりました。また、乳製品につきましては、販売チャネルの拡大とブランドイメージの浸透に努めてまいりました。さらに、新しい試みとして、通信販売で季節・数量限定の「フルーツコンポート」を発売いたしました。

しかしながら、主力のドレッシングの販売が、消費税総額表示の影響に加え、相次ぐ台風上陸による野菜の品薄・高騰の影響を大きく受け、売上高は48億2百万円(前期比0.7%増)、営業利益は16億42百万円(前期比5.9%減)にとどまりました。

### レストラン事業

レストラン事業におきましては、立地やお客様層に合わせた味・サービス・雰囲気のととのった店づくりに努めるとともに、メニュー開発にも注力し、季節野菜の新しい食べ方などを提案してまいりました。また、平成16年12月9日に創業25年目を迎えたのを機に、お客様への感謝の気持ちを込めた「25周年スクラッチキャンペーン」を実施しました結果、好評を博し、平成17年3月には客数・売上減に歯止めがかかり、次期につながる成果を収めることができました。一方、食材価格の引き下げや物流整備による原価の低減にも取り組んでまいりました。店舗展開では、直営店において、平成16年4月にミオミオ事業の「ヨドバシ博多店(福岡市博多区)」をレストランに業態を変更し、また、平成16年5月には東京地区レストランの広告塔の役割を果たしておりました「コレテ・アクアシティお台場店(東京都港区)」を閉店する一方、「ダイヤモンドシティかすや店(福岡県糟屋郡)」を平成16年6月に新規出店いたしました。

しかしながら、競争激化による既存店の減収に加え、平成16年8月から10月にかけての相次ぐ台風上陸など天候不順の影響を受け、売上高は43億79百万円(前期比2.0%減)、営業利益は30百万円(前期比58.6%減)にとどまりました。なお、海外のレストラン事業として、上海の子会社(上海ピエトロ餐飲有限公司)におきまして、平成16年10月に2号店を新規開店する一方で、上海進出の所期の目的を果たした1号店を平成17年3月に閉店いたしました。

### ミオミオ事業

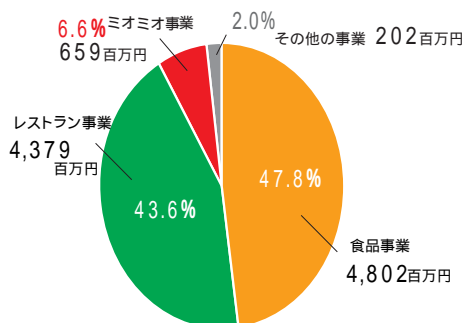
ミオミオ事業におきましては、定番メニューのサラダパスタの充実に加え、冬季の対策として「フォー」を投入するなど季節フェアメニューの開発強化を図り、売上高の拡大に努めてまいりました。店舗展開では、直営4店舗「ダイヤモンドシティ粕屋店(福岡県糟屋郡)」、「池袋サンシャインシティアルタ店(東京都豊島区)」、「丸の内オアゾ店(東京都千代田区)」、「府中フォーリス店(東京都府中市)」の新規出店を行う一方、「代々木店(東京都渋谷区)」及び「自由が丘店(東京都目黒区)」の2店舗を閉店いたしました。

この結果、売上高は6億59百万円(前期比11.7%増)となりましたが、出店コスト増等により、営業損益は2億92百万円の損失となりました。

### その他の事業

その他の事業におきましては、本社ビル等の賃貸事業の入居率の高まりにより、売上高は2億2百万円(前期比6.4%増)、営業利益は1億4百万円(前期比21.3%増)となりました。

### セグメント別売上構成比 10,043百万円



### 店舗分布状況

(平成17年3月31日現在)

